

## 第38回東海地区みどりの少年団サマージャンボリー開催

東海三県のみどりの少年団が一堂に集い、自然の中で緑の大切さを学び、交流を深めることを目的とした「みどりの少年団サマージャンボリー」（国土緑化推進機構、三菱UFJ環境財団及び愛知県・三重県・岐阜県の各緑化推進委員会主催）を、8月7日(水)から8月9日(金)まで2泊3日の日程で、「伊賀青少年野外活動センター」において開催しました。

参加者は、愛知・三重・岐阜の13少年団99名（引率者含む）で、岐阜県からは、一之瀬みどりの少年団、多良峡もみじ少年団、海津しみどりの少年団、北方小学校みどりの少年団、牧谷小みどりの少年団の5少年団49名（引率者含む）が参加し、愛知県、三重県の少年団と交流を深めました。

森林環境学習では「森の講話」と題して森や木の役割についての話を聞き、体験活動では実際に間伐作業の体験を行い、森林の役割や緑の大切さについて学びました。

また、忍者の服装に着替え「忍者修行体験」や、班旗の作成、野外炊飯、ニジマスのつかみ取り、キャンプファイヤー、交歓会などの盛りだくさんの活動を行いました。



開会式「誓いのことば」



野外炊飯



森の講話



間伐体験



忍者修行体験



キャンプファイヤー